

第23回症例検討会 研修会報告

日 時	2026年8月2日(日) 10:00～12:30
開催方法	Zoomミーティングを利用したオンライン開催 (ブレイクアウトルームによるグループワーク)
テ ー マ	SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による症例検討 実践！臨床推論×副作用判別 ～検査値、問診、身体所見など総合的評価がポイント～
講 師	医療法人橘会 東住吉森本病院 薬剤部 臨床薬剤科 科長 佐古 守人 先生
受講者数	10名(内、本学学生1名)
認定単位	1.5単位

【研修風景】

当日は講師、ファシリテーター及びエクステションセンター教職員がZoom本部(本学A棟1階レセプションルーム)に集結して研修会を運営しました。



【内 容】

3～4名のグループに分かれ、ファシリテーターも加わって2つの問題について検討、発表しました。



講 師

医療法人橘会 東住吉森本病院 薬剤部
臨床薬剤科 科長 佐古 守人 先生



ファシリテーター

まこと薬局
黒田 泰司 先生



ファシリテーター

幸生堂薬局
宮武 真也 先生



ファシリテーター

神戸市立医療センター
中央市民病院 薬剤部
吉野 新太郎 先生



ホスト

神戸薬科大学 エクステンションセンター
講師 鎌尾 まや 先生

アンケート(抜粋)

- ◆副作用は薬剤名や添付文書で判断せず、服薬の実態、発症の時期、検査値、身体所見を総合して評価することが重要だと学びました。
特に、実際に医療へつなげる支援まで行うことが大切だと感じました。
- ◆本日の臨床推論×副作用判別をシリーズ化してほしい
- ◆佐古先生の説明や話が分かりやすかったです。心不全、CKDなどより、深めたいです。
- ◆今後も、いろいろな病態での症例検討会を開催していただければ参加していきたいと思います。
- ◆本日参加出来て良かったです！ありがとうございます。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学
エクステンションセンター